



陸上記録会が行われました

運動会が終わり一息もつかぬ間に、6年生は陸上記録会の練習に入りました。一人一人種目決めから始まり、練習計画を立て、種目ごとの練習メニューを決めていきました。主な練習は、体育の時間を使ったり放課後を使ったりしました。それぞれ種目ごとに、担当の職員を決め子どもたちを指導し、全校体制で取り組むことができました。また、10月12日（木）には、敷島中学校の先輩方から練習の仕方を教えてもらうこともできました。

本番は10月24日（火）に甲府の小瀬陸上競技場で行われました。この競技場は、ヴァンフォーレ甲府のサッカーの試合がしばしば行われる場所であり、テレビでもよく放映される競技場です。とても広く、本格的な競技場になっています。ここで、競技ができるのも、一生のうちで、そうあるものではないと思います。当日は、天気も良く、すっきりと晴れわたり、絶好のコンディションでおこなうことができました。

さて、本番。まず60mHから始まりました。競技の招集が始まると、子どもたちは緊張の面持ちで、集合場所に向かいます。自分の名前が呼ばれるまで、静かに待っていました。出走順に名前を呼ばれ、スタート位置につき、静かに座ります。スターティング・ブロックに足をかけ、ラインに触れないように気をつけながら手を地面につき、用意の合図を待ちます。なんともいえない張り詰めた空気が流れます。用意の声がかかると同時に腰を上げ、ピストルの音が響きます。きれいにスタートが決まり、わずか十数秒後にゴールを切ります。ただ前に向かって一生懸命に走る。走る。走る。あっという間のことで、無我夢中に走ります。でも、ゴールして振り返ってみると、スタートもっとうまくできたかもとか、ちょっと詰まっちゃったとかいろいろ考えてしまうことがあるかもしれません。



女子60mH



男子走り幅跳び

それでも、一人一人が自己ベストを目指して、一生懸命頑張りました。自分の記録を更新するために、全神経を集中し挑戦しました。どの子も精いっぱい頑張る姿は、間違いなく輝いていました。自分との戦いを通して、たくましく成長した6年生でした。



800m

1000m



男子走り高跳び



女子100m

私が出会った素敵な子どもたち

10月20日（金）には、5年生が中心となって全校で、6年生の陸上記録会出場に際して激励会が行われました。5年生には、いつも6年生にリードしてもらっていたことや6年生からもらった優しさの思い出等のお返しに、感謝の気持ちを込めてエールを送りたいという考えがもっていたそうです。同時に、5年生の担任の先生は、「5年生のみんなに、6年生から敷島南小学校のバトンをしっかりと受け継いでいくという自覚を持ってほしい。」という気持ちもあったと聞きました。

5年生は、事前に各クラスから応援団を選び、計画づくりや準備を行いました。そして、応援団を中心に5年生全員で1年生から4年生まで応援の仕方を指導し、本番へとつなげていきました。一人一人が気持ちを込めてに取り組み、本番は、しっかりとしたエールを6年生に届けることができました。このエールは、きっと6年生の心へ届き、本番への勇気へとつながったはずです。



横森秀彦さんより絵画をいただきました

1学期の終わり、学校に敷島北小学区の自治会長の生山さんより一本の電話が入りました。敷島地区在住で絵画を描いている方がいて、作成した絵画を敷島南小学校に寄付したいということでした。早速、来校していただき、話を聞くことにしました。画家の横森秀彦さんは、敷島地区の小中学校4校に絵を贈りたいと話をされていました。なぜ、寄付をいただけるか聞いたところ、横森さんの願いは、「児童や生徒が、自由な発想のもと自由な創造ができるようになってほしい。そのために、少しでもいろいろな表現（私の絵画）を見て、何かを感じてほしい。そして、児童や生徒の表現の仕方に少しでも役に立ててほしい。」というものでした。子どもたちに紹介していきたいと思います。

本校では、10月23日（月）に3枚の絵をいただき、来賓玄関横の壁に展示することにしました。左より「開放」、「射光」、「メッセージ」です。児童ばかりではなく、保護者や地域の皆様にも、ぜひ見に来ていただければと思っています。

